

ワールド創業者創設 第1回畑崎賞

草の根4人と2団体に

6日表彰式

大手アパレルメーカー「ワールド」(神戸市中央区)創業者の畑崎廣敏さん(77)が創設した畑崎財団は「第1回畑崎記念フアッシュヨナブルエーシング賞」の受賞者を発表した。兵庫県内で地道な社会貢献活動を続けた4人と2団体が選ばれた。6日に同市中央区の神戸国際会館で表彰式がある。

(岡西篤志)

活動を通じて「年を重ねても明るく健康で内面が充実した生き方」を実現している人たちが顕彰するのが目的。地道な活動を続けている。地道な活動を続け

は、介護老人保健施設への訪問コンサートなど音楽療法の普及に努める県音楽療法士会(松崎聡子理事長)と、神戸市長田区で子ども

話の伝承と人権教育にも取り組む語り部サークル代表の源光恵さん(85)川篠山市。社会奉仕活動分野には、戦争遺産の調査研究を通して平和の尊さを伝えるとともに、高齢者大学で学んだ地域活動の実践に取り組む高砂市の会社員上谷昭夫さん(75)を選定。団体では神戸市東灘区を拠点に、手芸などを通じたお年寄りの心のケアを18年間続けてきたボランティアふれあいサロン(安永早絵子代表)が選ばれた。

の健康見守りや母親の相談事業を続ける小児科医の土屋さなえさん(73)が選ばれた。知的活動分野には選ばれたのは、ミニバスケットボールを通じた青少年育成や歴史遺産の冊子編さんで地域貢献を続ける農業の安田安義さん(80)川南あわじ市と、地域に残る民